



茨城ワイズメンズクラブ  
2020年度-2021年度  
10月報 Vol.146

強調月間テーマ

EMC-E・YES

# THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI CHARTERED 2006



国際会長主題.....「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長主題.....「変化をもたらそう」  
東日本区理事主題.....「変化をたのしもう！」  
関東東部部長方針.....「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」  
茨城ワイズ会長主題.....「楽しくやれる方法を考えよう」

## <10月例会プログラム>

と き:2020年10月2日(金)  
19:00~21:00

と ころ:筑波学園教会教育会館 1F  
(オンライン開催の可能性あり)

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のために YMCA に尽くそう
- 1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさたろう
- 1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

協 議:

「第2回チャリティーサイクリング」  
ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

## ★巻頭言★「YMCAは必要とされている」

櫻井 大樹 (だいこんリーダー)

「だいこん」こと櫻井大樹と申します。茨城 YMCA に来て、早5年が経とうとしています。現在、障がい福祉部門の主任を務めさせていただいております。私が管理者を務める放課後等デイサービス「ひかりの子」では、日常生活に困難さを抱える児童や発達障がいのある児童の支援を行っております。

私は今まで多くの児童と触れ合い、その中で、子どもとの関係を上手く構築できないことから苦しむ家庭を見てきました。つい最近にも、85歳の祖母と11歳の男児の二人暮らしの家庭から、私たち茨城 YMCA へ相談がありました。その男児は、学校に行くことができず、家では昼夜逆転の生活を続け、祖母のいうことも聞くことが出来ず、困り果てているとのことでした。その男児をひかりの子で受け入れてから、その男児が行くことが出来なかった学校に、週に1回、2回と行くことが出来るようになってゆきました。そして、茨城 YMCA に来ることが他の児童と関わる楽しさに繋がっていることを、その男児本人が話してくれました。

茨城 YMCA は、これまでも多くの苦しみを持った家庭に寄り添い、共に歩んできました。収益だけを求めた企業では絶対にできないことであり、それは我々YMCA が一番得意とする分野です。相談がしたくてもできない方に対し、目を背けずに、理解し寄り添う姿勢を通すことは決して簡単ではありません。ですが、簡単ではないからこそ、人と人との間に寄り添う想いがなくなってしまうはいけないと考えています。これからも、寄り添う想いを忘れずに茨城 YMCA とともに地域のニーズに答えていきたいと思っております。

## ☆今月の聖句☆

およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。

ヘブライ人への手紙 12章 11節

## 【茨城クラブ 9月例会報告】

9月例会は、前月に引き続き zoom を利用したオンラインでの開催となりました。ワイズメン 5 名ならびに連絡主事の大澤さんが集いました(ちなみに書記村田はまたもや仕事が長引き、移動中の車内からの参加となりました)。近況報告などの雑談を経て、10月に開催予定のサイクリングイベントについての協議(イベント内容は別項にて案内します)、また毎年10月に開催していたものの、中止となった秋の共同開催バザーならびにインターナショナルチャリティーランに代わる奉仕活動について協議いたしました。

### 9月例会(オンライン開催)出席状況

会員：5名(熊谷、稲本、柳瀬、村田、片山、大澤)、メネット：0名、スタッフ：0名、リーダー：0名、ゲスト：0名、出席総数数：5名、在籍者会員数：9名、会員出席率：56%

ワイズメンズクラブの最大の目的は『YMCAの活動を支援する』ことです。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。YMCAは会員団体であり、会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。YMCA維持会員とは、そのようなYMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの継続と発展に寄与する会員です。維持会員登録をご希望の方は茨城YMCA大澤(茨城ワイズメンズクラブ連絡主事)までご連絡下さい。

## 【中止となったイベントの代替活動について】

今年度の秋の合同バザー(お隣の筑波学園教会との合同バザー)ならびにインターナショナルチャリティーランにつきましては、それぞれオンラインでの開催も模索されてはありましたが、最終的に中止となりました。

いっぽうで、株式会社味の素さまからの食品提供があり、茨城YMCAが既に受領していたため、こちらの物品を活用することで、代替の奉仕活動を実施することを決定しました。食品は消費期限が近いため、味の素さまの意向である「今夜の食事に困る人のために」に沿った活動は難しいとの判断から、茨城YMCAにおいては、以下のような拡大解釈を行うこととしました。「今夜の食事に困る人たちのための寄付をして、これらの食品は私たちが期限内にいただく。」茨城YMCAにおいて、そのような趣旨を説明して寄付を募ったところ、初日10万円、翌日5万円が集まりました。

味の素さまから提供のあった食品の中には、一般の家庭では持て余してしまうような「業務用炊き込みご飯のもと(30人分)」がありました。茨城YMCAではこれを活用して500円の寄付を頂いた人に1食分の混ぜご飯をさしあげるといった計画を立てました。

10/19告知スタート、11/2(月)、11/9(月)、11/16(月)に混ぜご飯を炊いてパッキング、幼保や学童保育等の茨城YMCAサービスのお迎え時間に間に合うように実施という作戦です。茨城ワイズでもこちらの活動に参加させていただくこととなりました。

秋のバザーについては、イベント開催は断念したものの持ち寄った物品を保育園等に展示し無人販売店形式で代金を入れてもらう方式での実施の検討を進めています。

## 【イベント企画】

### 第2回チャリティーサイクリング開催に向けて

多くのサイクリング大会ではタイム計測を行ってくれます。順位発表や表彰式はしませんがゴールしたタイムが記載された完走証を受け取ることができます。何度か参加すると、そのタイムから自分の変化が分かります。「今年は10分速くなった」とか「昨年より15分も遅かった」とか。サイクリング中のエネルギー補給や水分補給、パンクの対処も参加者側の責任なので主催者側はノータッチです。サポートカーは参加者の落車(転倒)や体調不良の対応に用意されますので、単なるパンクでは動きません。そうすることで参加者を100人でも200人でも受け入れられます(チャリティー開催すればチャリティー額も期待できます)。ほんとうはそのようなチャリティーサイクリングの開催をしたかったのですが・・・第1回チャリティーサイクリングは、茨城YMCAのみなさんにもご協力いただいて「サイクリング入門レッスン」のようなグループサイクリングのスタイルで実施いたしました。

グループサイクリングにおいて私一人で対応可能なメンバーの数は3~4人程度まで、最後尾にサポートライダーをつけることができれば7人くらいまでといったところです。また、初心者の方には、サイクリングに出かける前に、以下のような説明と練習も必要です。

- ・体に合ったロードバイクの選び方。
- ・自分に合ったハンドルの幅と高さの決め方。
- ・ペダルとシューズの選び方(多くのロードバイクはペダルが別売)。
- ・サドルの高さの決め方。
- ・フロントホイールの取り外しと取り付け。
- ・リアホイールの取り外しと取り付け。
- ・チューブ交換(自分でパンク対応できるように)。
- ・停止と再発進、加速、減速、変速、ブレーキング。
- ・サイクリング時に必要な装備。
- ・2段階右折。
- ・後方へのハンドサイン。・・・

10月17日(土)に第2回を、24日(土)第3回を、前回と同じ「サイクリング入門レッスン」として開催する予定です。今回は第1回るときよりも少し高度な(前回なかった「信号通過」のある)コース設定です。皆様のご参加をお待ちしております。

**予定コースの試走**

開催日までには、予定のコースを何度か試走する予定です。9月19日(土)に、計画した出発時間にスタートしてみました。全行程は約28Km、ゆるい下り坂やゆるい登り坂もあり、サイクリング入門コースとして初心者にとってつけの素晴らしいコース設定だと自画自賛しております。



(実行委員長 熊谷)

- 26日 障がい児者自立支援活動「たんぽぽクラブ」
- 26日 中高生デイキャンプクラブ「ユースクラブ」
- 27日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」
- 29日 職員礼拝/職員会

**10月の予定**

- 10/3-11/28 日本YMCA スタッフ研修ステップII  
(参加：櫻井大樹)
- 3日 水のデイキャンプ
- 5日 早天祈祷会
- 5日 主任会
- 9日 YMCA ブランド表出研修
- 10日 リソースモビリゼーションチームミーティング
- 12日 幼保園運動会
- 24日 牛久センターピアノ発表会
- 28日 中期計画委員会

(連絡主事 大澤)

**【事務報告】****会計報告(2020年8月15日~9月4日)**

前月繰越金	36,942
出入金なし	0
次月へ繰越	36,942

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納について、ご協力を賜りたく願います。  
(会計 柳瀬)

**【茨城YMCA 報告】****9月の報告**

- 5日 障がい児者自立支援活動「たんぽぽクラブ」
- 7日 早天祈祷会
- 8日 リソースモビリゼーションチームミーティング
- 9日 チャリティーラン・バザー合同ミーティング
- 12日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 14日 主任会
- 16日 児童クラブ研修
- 19-20日 小学生オーバーナイトキャンプ
- 21-22日 ピアノ・フルーツ発表会/芸術祭
- 23日 牛久職員会
- 23日 中期計画委員会
- 25日 国際事業部ミーティング
- 26日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」

**【編集後記】**

9月は、下旬になってぐっと過ごしやすくなりました。さて今年の秋冬はどうなりますでしょうか。

先日、ふとした拍子に数年ぶりにキャンプソングが口をついて出てきました。40歳手前のおじさんが歩きながらキャンプソングを歌っているなんて、なんだかおかしな姿です。でも、確かに、キャンプソングを歌っていると身体の奥底から不思議な力が湧いてくるのです。

今年は自分自身にとっても辛いことがたくさんありました。それでも、そんな経験を通して、辛いときに自分を支えてくれるものがなにか、それは自分が大切にしなければならぬものなのだ、ということもよく分かりました。失ったものと引き換えに、気づいたこと、得られたことがありました。人生も、ものごとくも表裏一体なのだなあ、としみじみと思えます。

(書記 村田)

オイルショックや東日本大震災直後の買い占めのように、過剰な「恐怖」による行動は自分だけでなく、まわりの多くの人たちまでをも心配や不安に巻き込んでしまいます。また20年前の臨界事故時のように、杜撰な「慣れ」による行動は、とんでもない悲惨な事故につながる可能性があります。

恐怖することは安全の基本、慣れることは上達の基本だとは思いますが・・・この恐怖と慣れの折り合いを私たちはどうつけたらよいのでしょうか。今、新型コロナウイルスは、私たちにそれを突き付けているように思います。

(会長 熊谷)

# 茨城ワイズメンズクラブ チャリティーサイクリング 「小野小町サイクリング」のご案内

1. イベントスタイル：みんなで集まって、個人の責任のもとで楽しむグループサイクリングイベントです。サイクリングサポートライダーがコースガイドをつとめます。  
「賠償保険かける必要があるのでは？」と心配される方には自家用車の任意保険に日常生活賠償特約（同居家族全員が対象）を追加するのが費用が安くてオススメです。  
体力や健康に不安のある場合は、あらかじめ医師等にご相談のうえご参加願います。
2. 自転車：参加者ご自身でご用意願います。  
必ずクイックリリースホイールの自転車（ロードバイクやクロスバイク）でご参加ください。  
いわゆるママチャリはNGです（途中でパンクしたときに対応ができないので）。

### 3. イベント概要：

開催日：	2020年 10月17日（土曜日）と24日（土曜日）
集合場所：	茨城YMCA東新井センター公園側駐車場
集合時間：	午前9:30 出発前にタイヤの空気圧やブレーキ等をチェックします
タイムテーブル：	10:00 茨城YMCA東新井センター を出発 10:20頃 ローソン天久保店（約4km地点） 10:50頃 りんりんロード（約9km地点）をクロス 11:00頃 日枝神社（約13km地点） 11:10頃 小町の館（約14km地点） 11:50頃 そば処「まほら庵」（約19km地点）昼食 13:00頃 そば処「まほら庵」を出発 13:10頃 藤沢駅跡休憩所（約20km地点） 13:40頃 茨城YMCA東新井センター（約28km）到着
予定コース地図：	<a href="https://ridewithgps.com/routes/34059184">https://ridewithgps.com/routes/34059184</a>



4. 募集対象：ワイズメンズクラブ会員・茨城YMCA会員とその家族・友人です。  
オープンな募集ではありません。募集人数は、先着順で7名までとさせていただきます。  
20～30km程度かそれ以上のサイクリング経験も参加の条件とさせていただきます。
5. 持ち物など：参加費 2,000円（昼食代込み）を出発前にお支払いいただきます。  
昼食はそば処「まほら庵」の指定（天そば または 天うどんのセット）メニューです。なお、まほら庵の隣の「JA土浦サンフレッシュ」にて地域の特産品（農産物がメインです）の購入ができます。少し余裕のあるデイバックがあると、帰路に支障のない範囲でお土産等の持ち帰りが可能です。水分補給用の水筒を必ず携行願います。
6. 申し込み：プランナー兼ガイドの熊谷（080-3505-7716）実行委員長へ、SMS送信でお申し込みください。悪天候が予想される場合等でやむを得ず中止する場合には前日夜までに連絡を差上げます。申込み締め切りはそれぞれ開催日の1週間前までとさせていただきます。
7. 注意事項：サポートカーの並走はいたしません。  
サイクリング中はガイド兼サポートライダーが可能な限りサポートいたしますが、最終責任は参加者本人であることをご承知おきください。
8. 益金用途：ボランティアリーダーの研修支援と障がい者支援（いずれも茨城YMCAのプログラム）に活用させていただきます。

主催 茨城ワイズメンズクラブ  
協力 NPO法人 茨城YMCA

